



手をつなごう、子どもたちのころと

ACC News Letter

危機の子どもたち・希望

August 2009



(邑智中学校 2009/07/10)

ACC ニュースレター第 22 号

ACC News Letter Vol.22

- ・ 「風の船」 in 島根
- ・ セルビアのおばあさんとあけの星学園の交流
- ・ その他報告
- ・ ACC 事務所移転のお知らせ



島根から、力いっぱい作品がボスニアへ届けられます！

2009年7月10日島根県美郷町立邑智中学校にて、今年で5回目となる平和学習を行ってまいりました。これまでは主にセルビア、カンボジアとの交流を行ってまいりましたが、今年は初めてボスニアとの交流を致します。また新しい取り組みとして、ボスニアの田舎町 RUDO (ルド) と邑智中学校の文化交流を何らかの形で行いたいと考えております。今回ルドを交流先として選んだ背景としてはまず、ルドは小さい田舎町で外の世界との接触も少ない地域であるため、文化交流を通して色々な世界があるということを感じてもらいたいということです。さらに、紛争後自分たちの存在が忘れられていくことを非常に恐れている旧ユーゴ地域の人々に、「あなたたちのことを知っている人間、関心を持っている人間が、遠く離れた日本にいる」ということを伝えたいのです。

* * *

今回は、交流の初めの一歩として、自己紹介を兼ねた名前リレーのワークショップを行いました。名前というのは、私たちは普段あまり意識をすることなく使っていますが、この名前があるからこそ私たちは大勢の中から一個人として認識されます。ワークショップでは、ルドの子どもたちに自分の名前を紹介すると同時に、普段は気にも留めず使っている自分や他人の名前について新たな視点から考える機会にもなったのではと思います。

10名程度の班に分かれ、白布に名前を一人ずつリレーのようにつなげて書き、その周りに自分の好きなものや、ルドの子どもたちに紹介したいものなどを描き込んでもらいました。3学年が混在する班構成であったので、ワークショップ経験者の2・3年生がリーダーとなり、どの班も個性あふれる素敵な作品を作っていました。回を重ねるごとに生徒のみなさんがワークショップに慣れ、また今まで以上に積極的に参加して下さるのが、見ているこちらにも伝わってきてとても嬉しい気持ちになりました。

た。毎年このような機会を与えて下さる邑智中学校の先生方、生徒の皆さまにこの場を借りて、心より御礼申し上げます。



《邑智中学校の生徒さんからの声》

邑智中学校の生徒の皆さんから、平和学習やワークショップについて次のような感想が寄せられました。

・「ボスニアの人たちは、日本より貧困で生活が苦しい状況だけど、自分たちの町、国がとても好きで、子どもたちの笑顔がすてきだったので、ぼくたちよりも、すごいなあと思いました。」 (1年生、Sくん)

・「どんなものを書こうか、どう書いたらよろこんでくれるか、いろいろ考えながら書きました。(略)少しでもよろこんでくれればいいなと思います。自分にも、世界の人々のためにできることがあったのかと思いました。」 (1年生、Iくん)

・「日本にくらべて、すごく貧しいことが分かりました。だけど、貧しくても『かわいそう』ではないこともわかりました。」 (2年生、Hさん)

・「去年も楽しかったけど、今年も楽しくて、ボスニアとかの子どもたちも向こうで今回作ったものを見て楽しんでくれたらいいな



あと이었습니다。また、来年も楽しみです。」
(2年生、Rさん)

・「僕は守山さんが言われた『お金じゃないものをこの人達は持っている』という言葉にとってもじんとくるものがありました。これはとてもすばらしいことですし、とても尊敬するようになりました。」

(3年生、Aくん)

・「自分の名前に自信を持って堂々とと言えるのは、本当はすごい幸せなんだなあと思いました。普段はなに気なく言っている名前だけど、これからはもっと自信を持つことを大事にしていきたいと思いました。」

(3年生、Mさん)

・「日本やアメリカなどの発展している国とちがいで、とてもいい環境じゃないけど、いつも笑顔でいるということはすごい事だな

あと이었습니다。」 (3年生、Mくん)

こうした活動の積み重ねで、未来を生きる日本の中学生たちの心の窓にのびやかな広がりをもたらされることを願ってやみません。



セルビアおばあさんからの贈り物が再び—あけの星学園へ

～「あなたが大好きです」～

2009年5月9日児童養護施設あけの星学園を訪問してまいりました。昨年12月セルビアのコソボ難民のおばあさんから園生の皆さんに、クリスマスプレゼントとして手編みの手袋が贈られました。その際お返しとして作成して頂いた写真付きのサンキューカードを、今春ACCメンバーがセルビアを訪れた際におばあさんへ渡してまいりました。おばあさんたちは、日本の子どもたちから送られてきたカードに大変感激し、そのまたお返しとして絵手紙と手編みのクッションを限られた時間の中で作って下さったのです。今回は、サンキューカードを渡した際の報告を兼ね、お返しとして預かってきた贈り物を渡してまいりました。

ACCメンバーがサンキューカードをおばあさんに手渡しする映像を、園生の皆さんは嬉しそうに、また少し恥ずかしそうに見ていました。



報告が終わった後も、お返しとして贈られたクッションを大事そうに抱えながら、おばあさんの映像を食い入るように見つめる一人の女の子がいました。会ったこともなければ名前も知らない、遠く離れた地セルビアで暮らすおばあさんたちが彼らのことを想っていること、それは私たちが考える以上に彼らにとって心の支えとなるのだ



と感じました。直接出会うことはできなくても、互いを想う気持ち、愛情、優しさは十分に伝わっているのだと思いました。紛争の中を生き、未だ故郷に帰れずに暮らしているおばあさんたちの変わらぬ温かい愛情に、彼らの強さと優しさを感じずにはいられませんでした。

ACC が目指す支援でなく「関わり」が、あけの星学園とセルビアのおばあさんの間で育まれたことを嬉しく思うと同時に、毎回温かく協力して下さい、あけの星学園の職員また園生の皆さまに、御礼申し上げます。



「あなたが大好きです。私たちはあなたたちを支えます。お互い助け合いましょう」(セルビアのおばあさんからの絵手紙とメッセージ)

ほうこく・いろ・いろ

朝日丘中学校の生徒の皆さん、ACC を訪問

愛知県豊田市にある朝日丘中学校の生徒さん4名が、6月24日の土砂降りの雨の中、ACC 事務所を訪問されました。朝日丘中学校では平和学習の時間にボランティアについて学んでおり、修学旅行で東京へ行くに当たって、NGO や NPO の現場を直接訪問しようと、生徒たち自身が HP を検索し、その中で ACC が選ばれたということでした。

“自分たちは今、とても恵まれた環境の中で暮らしているけれど、同じ子どもでありながら、厳しい状態の中で生きなければならない子どもたちに、自分たちは何ができるのか、何をしたらいいのか、教えてほしい”という目的意識をしっかりと持っている生徒さんたちでした。

ACC の活動内容をお話しすると同時に、私たちが普段大切にしていること、つまり一方的な援助ももちろん大切ではあるけれど、それよりも私たちは人と人とのつながりをとても大切に考えていること、また興味を持つことが最初の大事な一歩であること、一度関わりができた地域、人々、とは永くその関係を続けていこうと思っていることなどをお話ししました。

生徒さんたちは、私たちの話をとても熱心に聞いて下さり、また私たちも学校でどういう授業をしているのかとても興味があったので、あれこれ質問させていただき、1時間という予定の時間をだいぶオーバーしてしまいましたが、とても充実した楽しい時間でした。朝日丘中学校の皆さまに心から感謝申し上げます。

ともだち未来便 2009 がスタートします

教育環境に恵まれていないカンボジア奥地の小学校に、日本からの「友情」を届ける「ともだち未来便」が、本年度も始まります。「ひろしま祈りの石国際教育交流財団」から助成金交付を受けたことから、来年3月の現地訪問の前に、COF を通じて教

科書支援などを前倒しで実施する予定です。ご協力方法の詳細につきましては、同封のチラシをご覧ください。中身のみ、メッセージカード、教育支援金のみのご協力もありがたく承ります。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



助成金頂きました

ACCの「おばあさんの手」に、国際福祉協会（ILBS）とザ・ボディショップニッポン基金から、助成金を頂きました。当初、閉鎖的な難民コミュニティでの人間関係の活性化を目指して始まった「おばあさんの手」は、幾つかの発展がありました。そのひとつがセルビア・日本両国の児童養護施設の子どもたちとの手編み品の贈り物を通しての交流プログラムです。援助されるだけでなく、自分たちも社会貢献活動に参

加できるという喜びをおばあさんたちに与えて下さったILBSの皆さまに、心から感謝致します。また、ザ・ボディショップニッポン基金からは、おばあさんたちが「難民」という固定された社会的役割から脱し、織物教室の先生にチャレンジする活動へのご支援を頂きました。ありがとうございます。おばあさんたちと共に温かいご理解とご支援に感謝し、大切にさせて頂きます。

教会バザーに参加

5月24日のカトリック碑文谷教会バザー、7月12日のカトリック田園調布教会サマーセールに参加してまいりました。「おばあさんの手」作品を紹介しながら、そこに込められたコソボ難民の女性たちの思い、また教育環境に恵まれないカンボジアの子どもたちの様子などを小さな写真パネルで紹介

致しました。こうした外部バザーへの参加を通じて、ACCが関わる国々で困難の中に生きている人々への関心を高める普及啓発活動を、今後も積極的に続けてまいりたいと思っております。ご高配頂きました教会関係者の皆さまに厚く御礼を申し上げます。

ACC チャリティ・フェア

6月7日、恒例のACCチャリティ・フェアを開催致しました。毎回好評を頂いている「おばあさんの手」による色合いの美しい刺繍の施されたボトルカバーやテーブルクロス、またカンボジアシルクの小物類が並べられたACCコーナー、そしてアトリエ

龍のアクセサリーコーナーでは、ご来場の皆さまが楽しみながらお好みの品を選んでおられました。30万円を超えるご協力は、ACCの諸活動において、有効に活用させて頂きます。ご協力、ご来場を頂いた皆さまに心より御礼を申し上げます。

あけの星学園での学習ボランティア

今春から児童養護施設あけの星学園で、中高生の勉強をサポートする「学習ボランティア」として、隔週のペースで訪問しています。ACC *Young Hopes* の久米澤を中心に約10ヶ月間にわたって開催していた「英会話教室」が3月で終了したことを受け、新たに依頼を頂いたことがきっかけでした。

これまであけの星学園には、上記の英会話教室以外にも、ワークショップなどで何回か機会がありました。ですが、今回は初めて一人でおじゃますることに加え、卒業してからだいぶ経つ中学・高校の勉強をきちんと教えられるかということも含め、最初は緊張していました。

しかし、実際は園生に受け入れてもらうのにさほど時間がかからず、楽しいひとときを過ごしていることに自分でも驚きました。それは、今まで定期的にあけの星学園との交流を持ってきた活動の蓄積に救われた面があるのかな、とも思います。

今ではACCの活動というよりも、私自身が園生との関係を築いていきたいから続けているのが実感です。私の高校時代の恩師がかつて言っていた「教育はまさに“共育”だ」との言葉の通り、私自身もいつもたくさんのお話を学ばせてもらっています。自らの経験を生かし、少しでも園生の皆さんの力になれば嬉しく思います。

(中島麻美子)



ACC 事務所移転のお知らせ

2009年8月1日より、ACC 事務所は下記へ移転いたしました。今後ともよろしくお願
いいたします。

〒 152-0031

東京都目黒区中根 2-12-1 K&K ビル 5F

Tel/Fax 03-6459-5971

ACC ホームページをリニューアルしました！！

このたび、ACC ホームページを刷新しました (<http://www.acc-japan.jp/>)。

ACC が行うプログラムごとの紹介や活動の近況報告、ACC メンバーによるエッセイなど
を掲載しています。ぜひご覧ください。

ACC の若手メンバー・*Young Hopes* によるブログ(<http://younghopes.exblog.jp/i2>) も更
新中です。ACC での活動や日々の生活を通して感じることなど、メンバーの素顔がのぞけ
るページとなっております。ACC のトップページからも見ることができます。あわせてチ
ェックしてみてください。

ご協力をお待ち申し上げます

会員として、継続的な支援ネットワークにご協力下さい。

個人会員	年会費	10,000
学生会員	年会費	2,000
子ども会員	年会費	1,000
法人会員	年会費	30,000 (円)

送り先

●三菱東京 UFJ 銀行	恵比寿支店	●郵便振替
普通口座番号	1 6 1 0 5 8	口座番号 0 0 1 8 0 - 0 - 6 9 0 0 4
口座名	特定非営利活動法人 危機の子どもたち・希望	口座名 特定非営利活動法人 危機の子どもたち・希望

編集後記

8月15日、64回目の終戦記念日を迎えました。最近私は、70回目、80回目…の終戦記念日を迎える将来、戦争体験者がいなくなってしまう時の日本は一体どうなってしまうのだろうか、と想像することがあります。決して遠くないその日までに、私たちにできることは何なのでしょう。戦争・平和の問題を考えるのは、決して8月だけに限られるべきではなく、また日本だけの問題としてとらえるべきでもありません。日々のニュースや日常の出来事においても、考えるきっかけはたくさんあると思います。広い視野で平和の尊さについて考え続け、小さなことから行動に変えていくこと。さらに、各自の考えや取り組みを周

囲の人と分かち合っていくこと——今の私にとっての課題だとあらためて感じております。
(中島麻美子)

特定非営利活動法人
ACC 危機の子どもたち・希望
〒152-0031
東京都目黒区中根 2-12-1
K&K ビル 5F
Tel/Fax 03-6459-5971
E-mail forhope@tkk.att.ne.jp
ホームページ <http://www.acc-japan.jp/>